

Press release

所沢市立第2学校給食センターへ太陽光発電設備導入(PPA方式)

武州ガス株式会社（本社：川越市田町、社長：原敏成）は、所沢市における初の「PPA方式」により太陽光発電設備を導入しました。本事業により発電される電力は自家消費が主となり、余剰電力は地域新電力（ところざわ未来電力）に売却し、地域内でのエネルギーの循環を促進するモデルを確立しています。太陽光発電設備の設置が完了した秋には、市職員の方々が視察勉強会に参加し、設備の状況等を確認しました。令和7年2月より、まずは完全自家消費での発電を開始し、この先の諸手続きが完了次第、余剰電力の売却を開始します。

■概要

事業者：所沢市 B&T 共同企業体（代表構成員：武州ガス株式会社 構成員：東京ガス株式会社）

設置場所：所沢市立第2学校給食センター（所沢市中富 1862-1）

設置面積：屋根面積 約 1,375 m²

事業期間：20 年間（令和 7 年 2 月 1 日～）

設置設備：太陽光発電設備 181.44kW、非常用蓄電池 15kWh

年間発電見込量：192,660kWh（約 50 世帯分の電力使用量に相当）

CO₂削減見込量：20 年間で 1,070,946kg-CO₂（平均 53,547kg-CO₂/年）

※CO₂排出係数はところざわ未来電力 R3 実績（0.289kg-CO₂/kWh）を使用

ポイント：

1. 非常時・停電時に活用可能なシステム

非常時や停電時、夜間等太陽光パネルが発電していない時間帯でも活用できるよう、電力供給 15kWh のハイブリッド型蓄電池を導入。

2. 事業期間における維持管理・メンテナンス等の計画、実施体制

本事業は 20 年の長期に渡るため、日常的に遠隔監視を実施するとともに、独自の毎年 2 回の定期点検を実施し、万全な維持管理、メンテナンス体制を構築。



＜本件に関する問い合わせ先＞

埼玉県川越市東田町 5 番地 1 8

武州ガス株式会社

担当：特需開発・CNC 推進室

TEL 049-241-9001